

(仮称)新庁舎・駅周辺公共施設再編計画(案)に対するご意見と町の考え方

番号	ご意見	町の考え方
1	<p>町民説明会を開くべきです</p> <p>1. 今回提案された新庁舎基本計画は、令和元年に行った町民説明会や地域説明会で提案された「基本計画」と比べ、①建設場所の変更②国の市町村役場機能緊急保全事業が使えない③新たに果樹公園を取得など大きな変更があります。</p> <p>2. 町民には、この2年間の新庁舎をめぐる紆余曲折は伝わっていません。多くの町民は令和元年の説明会や広報で知らされた『ラディアン裏の町有地に国の補助金も活用し約20億円で庁舎建設を予定している』と思っています。実際「町有地を有効活用し国の補助金が見えるから新庁舎建設に賛成」という声を聞きました。</p> <p>3. 日頃から町民参加を謳い令和元年には地区に出向いてまで説明会を重ねているのですから、今回の基本計画についても説明会を開くのが村田町政の姿勢として当然なんではないかと思えます。特に果樹公園の取得は二宮町にとって大きな事で町民の理解は不可欠だと思えます。また、建設費の概算は出せないとしています。令和元年には提示し町民の意見で修正しているのですから出せないという理由に町民の理解は得られないと思えます。</p>	<p>町はこれまで、6回に渡る「町民説明会」や全20地区を周った「地区との意見交換会」を実施してまいりました。その後、1,000名の方を無作為抽出したアンケートや、その中から手を挙げていただいた50名の方を中心とした昨年度のワークショップとシンポジウム、そして今年度、公募の方々によるワークショップと、2年に渡り多くの方々と議論を重ねてまいりました。議会では多くの、一般質問や総括質疑等での議論を経るとともに、テレビ中継をご覧になった方からもご意見をいただきました。これらを幾層にも積み重ね、現時点(計画段階)として、一定の方向性が得られたと考えています。それら様々なご意見に対して町の考えを総合的にまとめ、お示ししたものが今回の計画となっています。</p> <p>次の新たな議論のステップとして、基本設計の中で、正確な全体事業費やスケジュール、他の施設との関連など、かなり具体的な部分がほぼ見通せる姿になります。</p> <p>それを、お示したところで、改めて町民の皆さまのご意見をお伺いしたいと考えています。</p>
2	<p>新庁舎の基本設計を11月選挙後すぐに着手するという計画は町民を愚弄しています。</p> <p>1. 11月に町長・議員選挙が行われますが、町長を選ぶのは町民です。誰が町長になるのかわからない中で、選挙後すぐに基本設計に着手するのは町民の意思をまったく無視していますし、町政の私物化にすら見えます。常識的には令和5年度着手と計画すべきです。</p>	<p>P57にお示している通り、神奈川県との果樹公園の払下げ協議に約半年ほど掛かると見込んでいます。</p> <p>そのため、基本設計に入ることが出来るのは早くても令和4年度の後半になると見込み、スケジュールをお示しています。これまで議論してきたとおり、できるだけ早く災害に備える必要があることに、変わりはありませんので協議が整い次第、準備を進めたいと考えています。</p> <p>一般的に、自治体における計画策定は、議論を積み重ね、自治体としての長期的なあり方や、考え方、方向性を意思決定するものになります。</p>

3

改めて庁舎の機能・役割、庁舎新築の必要性を見直すべきです。

1. 庁舎は何よりも職員が安全に職務を遂行できる場であることが必要ですし、訪庁する方の安全性を担保することが重要です。しかし、それは新庁舎を建設しなければ不可能であるとは思いません。
2. 町民にとっては、必要な書類が手軽に手に入り、1か所で相談が完結すれば良いわけで20億円以上30億円近いお金を投資して新しい庁舎がどうしても必要だと思っている町民がどれだけいるのでしょうか。
3. バブル時代の公共施設が自治体の財政を大きく圧迫している中で、新たに公共施設を3つも建設することは時代に逆行しています。又生産世代を中心に町民の価値観は「物」から「生活環境」へと大きく変化しています。
4. 小中一貫教育とセットで町が提案した学校統廃合計画はいつの間にか消え、今後20年間は修繕を繰り返し5校を維持するという方針には驚愕しました。これでは定住者をふやすどころか二宮町の未来は高齢化とともにしぼんでいくだけです。庁舎が新しくなったから二宮に移住するなんて人はいません。
5. 限られた予算をもっと子育てや教育・福祉・防災など町民の生活に直結したことに使うべきですし、総合計画のWSでもそのような意見が多く出されています。
6. 20年間で児童・生徒数は減少し、単級化の課題はより深刻になります。教育環境を整えることを優先して学校の配置を早急に見直し、その結果をふまえ学校を庁舎として活用する方策を検討すべきだと思います。
7. 町民の相談窓口はラディアンをメインに設置し、ITなどを活用し駅前施設などに配置したらよいと考えます。もはや「役場に用事があったら本庁舎に来て」という時代ではありません。
8. 新庁舎建設提案から4年が経過しても建設への合意が得られない現状を真摯に受け止め、箱物から人に施策を変更することが二宮の未来にとって大事です。変化が激しい時代行政には柔軟な対応が求められています。逆にこのまま新庁舎建設や箱物にこだわり続けるのでしたら、それは町長の成果づくりでしかない町民には映ります。すでに私の近隣の方はそう思っています。

これまでも、庁舎の機能や必要性について多くのご意見をいただき、特に次の3点について繰り返し議論がなされました。

「新しい庁舎は必要無い」とのご意見については、大前提として、30年以内に70%以上の確率で発生すると言われている大地震に対して、現庁舎が災害対策本部として機能しなくなる恐れがあることに備えなければなりません。

他のほとんどの公共施設が耐震性を備えているにも関わらず、災害対策本部となる本庁舎は、耐震性がありません。また、BCP(災害を想定した業務継続計画)等も備えていますが、現状のままでは、厳しい状況に陥ると考えています。

県内では、二宮町を含む3町を除き、全ての庁舎が耐震性を備えており、隣の大磯町でも建替えの準備が進んでいます。災害時に、二宮町だけが、混乱を極め、復旧から取り残されることは、避けなければなりません。

華美で過大な庁舎は不要ですが、機能的、費用対効果の高い庁舎は自治体として、最低限必要なものです。

なお、庁舎を新しくすることで、二宮町に移住する人が増えるというご説明をしたことはありません。

次に「空き校舎を新たな庁舎にすれば良い」との、ご意見も以前から頂いていますが、現時点で、近い将来に廃校とする計画が無い中で、庁舎のために、小中学校の統廃合を急ぐのは、本末転倒です。

そして「デジタル化するので職員も分散化すれば良い」との、ご意見も以前から頂いています。

二宮町でも今後、「自治体デジタル DX」によりデジタル化を加速していきますが各種書類のやりとりや、会議等がデジタルに移行していく一方で、高齢の方や、障がいを持つ方など、様々な事情を抱える人々に寄りそう町民サービスとしては、対面の重要性、組織的な連携等の重要性に変わりはありません。そのためには「役場」としてある程度集約された執務環境と誰もが訪れやすい環境が大切だと考えます。

一方で、ご意見のとおり、必ずしも一つの建物である必要は無いと考えています。ラディアン周辺に行政機能を集

		<p>約いたしますが、建物としては、ラディアンを始めとした既存の施設をできるだけ活用し、建築面積の縮減を目指すことを、計画 P51 にもお示ししていますので費用対効果、機能性を良く考えて基本設計にて検討していきます。</p>
4	<p>今回示された施設再配置計画によると保健センターの一部をラディアンに設置するとされています。計画ではホールと貸し会議室は現行どおりとされているので、おそらく図書館の一部と展示スペースが保健センターに変更されるものと思われるのですが、はたしてこれは「町民の福祉の向上」を目指す町行政の方向性に沿うものなのか大変疑問に感じます。図書館の1階には児童コーナー、雑誌コーナー、視聴覚コーナー、事務室、カウンターなどがありますが、どれも図書館サービスを提供するうえで必要不可欠なものであり、現在でも必要最低限のスペースで運営をされていますが、これ以上、スペースを削減してしまうと図書館サービスの大幅な低下を招いてしまいます。未来を担う子供たちが自ら学ぶ力を養ううえで図書館には大変大きな役割があり、そうした役割をさらに充実・推進していくことがこれからの町行政に求められていることではないかと思えます。そのためにも現状の図書館スペースは引き続き維持していくことが必要です。</p> <p>また、展示スペースについてですが、こちらも現在、各種展覧会やイベント、町民の文化活動の発表の場として活用されています。ラディアン以外の場所、例えば新しい役場庁舎内や駅前施設などに展示スペースを移転する考えもなくはありませんが、こうした施設ではどうしても来所する人が特定の人になってしまいやすく、広く大勢の町民に見てもらうためには、図書館やホール、ミーティングなどで来所する人が多いラディアン内に設置することが、展示スペースを使った各種事業、イベントなどを実施していくうえで最も効果的であると考えられ、引き続き、現状の場所に設置するのがベストであると考えられます。</p> <p>こうしたことから、図書館、展示スペース以外の場所に保健センターを設置しようとするならば、現在ミーティングルームとして使用されている場所に設置するというプランも考えられますが、ミーティングルームはミーティングルームとして、やはりラディアンにはなくてはならない施設であり、例えば、今回のコロナ禍において実施された新型コロナウイルスのワクチン接種や例年開催される産業まつりなどのラディアン全体で行われる大きなイベントの際にはミーティングルームは主要な会場として使用されています。また、災害時などラディアンが災害拠点として使用される際にも中心的な役割を担う拠点会場としての使用が想定され、ラディアン内にミーティングルームのような様々な状況に応じて使用可能なスペースを確保しておくことは「社会教育」という分野にとどまらず町行政の全体に関係することでもあり大変重要なのではないかと考えられます。</p> <p>このような理由からラディアンについては二宮町の「生涯学習」を支えていく施設として、また、「文化芸術活動の拠点施設」として、これからも現行同様に維持し、有効に活用していくことが望ましく、保健センターにつきましては、ラディアン以外の施設に配置していただきますよう</p>	<p>日ごろより、ラディアンや図書館をご利用いただきありがとうございます。</p> <p>これらの施設は、町の「生涯学習振興」を図るために平成12年に建設され、当初から、文化に関わる多くの町民の方々のご意見を取り入れ計画されました。</p> <p>ホールには、531席の階段型の客席と音響反射板や、スタインウェイピアノを備え、図書館には15万冊を超える蔵書と、当時最新のAVコンテンツを備え、約40億円という規模で建設されました。</p> <p>20年以上に渡り、多くの方々にご利用いただいておりますが、コロナ禍以前からホールとして500席を十分活かした興行や催事が少なくなり、インターネットの普及やデジタルコンテンツの充実に伴う、図書貸出数が減少していることなど、近年、全体的に稼働率が低下しています。</p> <p>ラディアンも、時代の変化を踏まえ、次世代のニーズを踏まえ、限られた予算と床面積を更に効率良く活かすべく、バージョンアップをしなければならないと考えています。</p> <p>図書館や展示ギャラリーについては、今回の計画では縮減について具体的に数値等お示ししていませんが、ラディアン内の各機能のあり方について、これまで町民の方々から頂いた様々な声に耳を傾けながら、基本設計の中で総合的に検討していきます。</p>

	<p>お願いします。</p> <p>新しい施設の建設にあたりましては面積の問題など様々な制約があるかとは思いますが、町民の目線にたち、多くの町民が納得でき、町民の多様な文化活動をサポートするような施設計画をぜひ実現していただきますようお願いします。</p>	
5	<p>令和2年度、3年度のワークショップに参加させていただきありがとうございました。今回の計画案全体はWSでの多様な意見が取り入れられた現実的な計画になっていると思います。</p> <p>新庁舎は取得費用は掛かるものの果樹公園に配置することで、災害時に県道71号線から直接導線を確認できて良いと思います。事業の進め方は今後、駅周辺施設の再編の検討を含めて事業期間、費用、職員の方の負担も考慮して検討いただきたいと思います。</p> <p>駅周辺施設再編のワークショップ実施も有効だと思います。</p>	<p>お忙しい中、ワークショップへご参画いただき誠にありがとうございました。限られた時間で、膨大な資料や説明もあり、ご負担もあつたことと思いますが、計画策定へのご協力に感謝いたします。</p> <p>これまでいただいた、様々なご意見を踏まえ、安全・安心とともに平時においても利便性や費用対効果の高い、町民の皆さまに未永く活用される施設となるよう、検討を進めていきます。</p>
6	<p>駅前複合施設には、ワークショップで意見の出ている外来者も想定した一時滞留スペースを設け、無人の情報発信機器(デジタルサイネージや大規模ディスプレイなど)を設置することで駅前の立地を活かせるのではないのでしょうか。にのバスの発着スペースも併設できるとラディアントの回遊性は向上すると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、駅前複合施設は、町の玄関口として、平時における通勤・通学の方、「菜の花ウォッチング」などの観光客の方、町内外の方々にとって分かりやすく利便性が高いことが重要であると考えます。デジタルサイネージや大規模ディスプレイ等も近年では採用しやすい価格帯になってまいりました。費用対効果を十分確認し、滞留スペース等も踏まえ、検討していきます。</p> <p>にのバス(コミュニティバス)の発着スペースについては、転回や停車のスペースを考慮すると、現在想定している面積の中で納めるのは難しい状況ですが、乗り場の案内や時刻表など、より分かり易いものを考えていきます。</p>
7	<p>交差点の改良、はな通りの一方通行化は関係者の調整が大変だと思いますが実現していただきたいと思います。</p> <p>計画全体は10年程の期間となります。引き続き町民や町への来訪者と随時状況や情報を共有しながら進めていただきたいと思います。</p>	<p>「生涯学習センター前交差点」から、北口通り商店街(はな通り)にかけて、長年、町の懸案となっており、町民の方々から、日ごろご意見をいただく場面もあります。</p> <p>約10年前、交通調査の実施や商店の方々との多くの議論を積み重ねた結果、現在の7時～9時の時間帯一方通行、バスの一方通行、グリーンベルトという形になりました。時を経て状況が変わり、高齢の方々や「菜の花ウォッチング」で散策に訪れる方も多くなりました。</p> <p>ご意見のとおり、時間を要することが見込まれますが、新庁舎と駅前複合施設の検討をきっかけに、より歩行者に優しい駅前となるよう、町民の皆さまのご意見をいただき</p>

		ながら進めていきます。
8	<p>駅周辺公共「施設」再編計画(案)となっていますが、ラディアン周辺と駅を結ぶはな通りの位置付けが漠然としていて、どのようにするのかイメージできません。また、駅周辺ということになれば、駅前のレイアウトも見直し、駅前に自家用車が入れないなどの不便を解消する点も考えられないでしょうか。駅前ナースリーはそのまま良いでしょうか。</p>	<p>駅北口は用地取得が未完であり、暫定整備として現在の形になっています。北口通り商店街(はな通り)は、歩行者へ優しい空間にしていくことで、より往来が活発になり、ついでには賑わいを取り戻すきっかけになることを期待しています。なお、駅前の考え方としては、バスやタクシー等の公共交通機関を最優先としますので、自家用車を駅前(ロータリー内)に入れる考えはありません。</p> <p>また、駅前ナースリーは、閉館した「(旧)ITふれあい館」を有効活用すること、駅前に保育園の立地を求める声にお応えすることから、保育園を運営する民間事業者へ賃貸しています。</p>
9	<p>数字が一人歩きすることを心配されていることと思いますが、本計画(案)を進めることで、教育や社会保障が薄くなることを心配する声がしばしば届きます。条件・前提を明示しつつ、トータルの将来負担がどうなるかを示してください。また、一方で、このまま老朽化がすすむことにかかるコスト、防災上のリスクについて定量化できれば、その部分は将来負担の軽減になるので良いかと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、これまでも「数字の一人歩き」により、様々な誤解が生まれてきたことから、取り扱いに慎重にならざるを得ない状況です。</p> <p>現時点では、床面積と直近の他の自治体の事例からの試算をお示ししていますが基本設計では、ランニングコストや、ライフサイクルコストを含めた、将来負担について、お示しすることを考えています。</p> <p>また、ご意見のとおり、町も老朽化している施設の維持管理コストを具体的にお示したいと考えており、その為に必要な建物ごとの詳細な調査を進めています。これまで、本庁舎や町民センターをはじめ、小中学校、消防庁舎、体育施設など、将来コストの負担が大きい施設について実施しました。詳細は、来年度に改訂を予定している「公共施設再配置計画」でお示しますが、概ねとしては、耐震性のある施設は、施設を適切にメンテナンスして、設備を更新、長寿命化することが建物の生涯コストとして安いことが分かっています。(防災的にも有利となります)</p>
10	<p>駅前複合施設については、プールの設置を含めることを求めます。プールについては再編の考え方が示されるということですが、私は学校にプールを設置し、それを地域で使うという考えです。</p>	<p>町営プールのあり方に関しては、別途、検討を進めているところですが、一般開放するためには、法令により資格を有する監視員を一定数配置する必要があります。</p> <p>さらに、温水プールでは温水を作る設備の維持費も膨大</p>

		で、ランニングコストが他の施設より突出して大きく、入場料収入を除いても、毎年4,000～6,000万円のランニングコストになっていることが課題となっています。また、プールを配置するには面積的にも難しいため、費用、面積両面からプールの設置は考えていません。
11	教育研究所については、新庁舎に入れるべきか良く議論されての結論でしょうか。教育研究所に来るときにあまり見られたくないという児童生徒への配慮が必要との意見を伺っています。社協を含めた社会保障・福祉関係の別棟に含めることも考えていただければ。	教育研究所や教育支援室の配置については、これまでも内部で様々な議論がありました。ご意見のとおり、人目につかない配置も検討しましたが、教育委員会や福祉部門との連携を重視するべきとして、現在の計画では新庁舎への配置としています。具体的な部屋のレイアウトや通路の配置、動線の確保などに十分配慮したいと考えています。
12	大雨への備えという点で、現在テニスコートが遊水池となっていますが、第一駐車場を第2遊水池として、田代川から葛川へ流れ入る水量の調整に役立てることはできないでしょうか。	ご意見のとおり、周辺の雨水処理の状況について、再度整理の上、基本設計の中で、対策を検討したいと考えています。なお、第一駐車場(花の丘公園)には既に、雨水を処理する管路が備えられているため、費用対効果を踏まえて他の手法を検討します。
13	駅前に GATE 機能を与えるという点については「取って付けた」感があります。JR で町に来る方は別にして、吾妻山へ登る方々が庁舎跡地に車を止めれば、それだけ町に出る方々は減るのではないのでしょうか。それほどの台数が止められないならば、GATE というほどのことはないので。	「GATE」というのは、あくまでも概念であり、町を知ってもらう「きっかけ」や、町の実質的な玄関口である駅前の立地、町民活動への入口となる場所の表現として用いました。
14	駅前・ラディアン周辺に一定の文化・行政施設が集められるので、公共交通との連携を強める必要を感じます。公共交通利用者の立場からはコミバスと神奈中バスの停留所が離れているよりも近いに越したことはないと思います。ラディアン利用の方にとっての神奈中バスの停留所の配置も検討すべきでは。	新庁舎には、公共交通を優先としたロータリーを設置したいと考えており、コミュニティバスとタクシーの乗り入れを想定していますが、神奈川中央交通株式会社の路線バスの乗り入れについても検討します。
15	駅前施設の集会室について部屋数、面積は精緻に検討したものでしょうか。予約できない時に予約できないこともあります。「大は小を兼ねる」ということで大きな部屋を借りていました。実際の利用人数や目的などを分析してのことでしょうか。3階の会議室の稼働率が低かったのは、「階段を上げるのがしんどい」ので、避けていたからだと思います。和室は汎用性がありますが、本当に2部屋必要でしょうか。朝日新聞の2階の貸集会室はたいへん人気があります。また、ラディアンの集会室、ホール、ほかの施設と合わせて部屋数・規模を示してください。	各部屋の配置や大きさについては、基本構想段階として、概ねの面積を検討したものです。機能を更に具体化していく中で、引き続き、町民の皆さまからご意見を伺いながら検討していきたいと思っております。

16	駅前施設については、防災、避難施設としての位置づけを明示すべきです。避難の実際を考えると、葛川の西側、帰れなくなった JR 利用者が対象になると思うのですが、避難所としての利用を想定することで防災備品の配置なども計画に入れる必要ありと思います。	P36でお示しているとおり、二宮小体育館の広域避難所機能を踏襲するとともに、乳幼児や障がい者の方の避難のほか、帰宅困難者の受け入れ等も踏まえた、防災機能を整備していきます。引き続き、具体的な設備や備蓄等について検討していきたいと思います。
17	基本構想が良くないから進捗も悪い、現在の結果を反省すべき。	ご意見として賜ります。
18	事業方式については、プロポーザル方式も含め、従来方式が良いと考えます。地元の事業者が様々に参加できるように、地元企業のコンソーシアムなども指導できないか検討をお願いします。	事業方式については、一長一短があり、ご意見のとおり「プロポーザル方式」により選定し、従来方式(公設直営)とするのが、現在の町の規模からすると適していると考えています。 建築に関しては、地元事業者も少なくなってきましたが、できるだけ還元できるように、仕様等を工夫したいと考えます。
19	公共施設全体の具体的な方向性が定まらない中で一部に多額の投資は不安定な発進になりかねない。	公共施設全体の方針については、来年度、予定しています「公共施設再配置計画」の改訂で具体的にお示しいたします。
20	計画の中に構想と計画が入り交じり手順が悪く合理性を欠くことになる。	ご意見として賜ります。
21	果樹公園の買取費用を概算でも示すべき。	用地交渉に関しては、相手方があることであり、協議前に公表することは失礼に当たりますので、お示しできませんでした。
22	廃止、移転予定の施設をどの様にするのか示しが少ない。	P10にお示しています。
23	下位の計画を変更しようとするなら上位の計画を先ず見直してから始めるのが手順。	基本構想でお示しているとおり、総合計画や都市計画マスタープラン等、上位の各計画と整合を図りながら策定しましたので、特に上位計画の見直しは必要無いと考えます。
24	北口通り商店街周辺は具体的に何を行うのか不明。	北口通り商店街(はな通り)周辺については、あくまでも民間の土地所有者の方々がいらっしゃいますので、町としての方向性や考えをお示しするにとどめました。 ベビーカーや子ども、高齢の方まで、歩行者に優しい空

		間にしていくことで、より往来が活発になり、については賑わいを取り戻すきっかけになることを期待しています。
25	問題としている駅周辺の用途地域はどの様にするつもりか。	用途地域については P35 にお示ししている通りです。都市計画法に基づき定めたものであり、問題はありません。
26	災害支援物資の分配拠点が現地に相応しいと思えない。	県道 71 号は緊急輸送道路に指定されていることから、ラディアン周辺は、災害時の支援物資を円滑に受け取るのに、町内で最も適した立地と考えています。
27	ラディアン周辺では付随する費用は概算でも示すべき。	P56 にお示ししています。
28	天然記念樹の移植は検討したのか、図上に合理性を欠く。	P28、P29、P42 等にお示しているとおおり、県の天然記念物(保存樹)は検討している用地に含まれておらず、現状のまま県により保全されと考えています。(果樹公園内の一般果樹は、県の天然記念物ではありません)
29	P.28、P.29 の図が違うのはなぜか。	P26、P27 で検討した新庁舎の配置について、それぞれの案を分かり易い様に具体的にお示した図となっています。
30	標準とされる職員一人当たりの執務スペースはそもそも縮小すべきだし、今後の規模縮小を見通している現在からすれば出来得る限りの縮小を考える必要がある。	国の指標を基に、基準となる面積を計画段階として算出したものです。過大な面積は必要としませんが、将来の職員数の想定や機能の転換を想定しつつ、基本設計の中で、詳細をレイアウトして検討していきます。
31	実災害時を想定したら避難所と庁舎を同一には出来ない。	庁舎は避難所ではありませんが、各地区の広域避難所で受け入れが難しい方や、近所の方の急な避難の受け入れなど、P19 にお示ししているとおおり、一時的な避難所としての機能は必要になると考えています。
32	この駅前複合施設には、主に町民センターや観光協会などの、現二宮町町民センターに配置されている機能が移転するとのことですが、確か、現二宮町町民センターは国の補助金を利用して数年前にエアコンを交換設置したため、それ以後この建物を活用しなければならない期間、が定められていたように記憶しています。	駅前複合施設については、この構想がスタートであり、これから議論を深めていくためには、一定の期間がかかると考えていますので、その間、町民センターや現二宮小学校体育館は、引き続き使用することになると考えています。

	<p>車での来場の多い町民センター、法人格を有さず採算性も低い観光協会、また新設予定の多目的体育施設については最近体育館に導入された高額なトレーニングマシンの存在など、各々の現状を見ても、必要以上の支出を覚悟し、用途の重複する建物を同時期に二つ保有してまで、これらの機能を早期に移転する理由は見つかりませんので、現二宮町町民センターを現在の体制のままで最低でも期限いっぱいまで活用し、また現二宮小学校体育館も同期間は現状維持した上で、駅前複合施設の稼働を開始するのが最善であると考えます。</p> <p>つきましては、現二宮町町民センターの活用期限がいつまでであり、そこから無駄のないバックキャストによる駅前複合施設の建設計画がどのようなものなのか、具体的な数字や日程を基に、私たち町民にも理解できるわかりやすい説明を希望します。</p>	
33	<p>この一等地に計画されている駅前複合施設への入居について、町への貢献を主旨とした民間団体へプロポーザルによる採択の間口が開かれないまま、すでに町長が代表を辞任して民間任意団体となった観光協会が確定しているのか、その理由を問うとともに、それであれば、観光協会の現状の収支や移転後の事業計画等が現段階で町民へ示されている必要があるのではないかと感じるのですが、その説明責任について予算の執行者としての見解をお尋ねします。</p>	<p>観光協会は、町内の様々な事業者等の方々を会員や役員として、町の観光振興に寄与することを目的に掲げている商工会や商店会連合会等と並ぶ、財政的援助団体です。</p> <p>民間事業者をプロポーザルで公募する方法もありますが、議会からも「観光協会は駅前に配置すべき」との意見が度々出されている経緯も踏まえ今回の(案)としました。</p> <p>収支は赤字であり、町の財政支援がなければ立ち行かない状況ですが、町の観光振興に欠かせない団体です。</p> <p>また、施設の建設が明確に見通せる段階ではありませんので、移転後の事業計画等も未定です。</p>
34	<p>この駅前複合施設については、年に一度の菜の花ウォッチングの事務局を担うだけで、自主的なツアーの立案や SNS による情報拡散もほとんど行わず、民営化から何年経っても法人化されない観光協会を設置するよりも、日々活発に活動し、二宮町の魅力を発信し、新たな価値を生み出そうと努力している町内の若き事業者たちが、協働して活用できる事業体を新設することの方が、二宮町の未来の希望を託すべき持続的なプランであると、私は考えます。</p>	<p>観光協会の法人化については、これまでも度々議論がりましたが、費用対効果や人件費の確保等の面から実現に至っていません。一方で、今後のあり方については、再度、法人化の可能性も含め、改めて検討していくことになっています。</p> <p>なお、過去においては、民間団体が町の観光振興にご尽力いただき、約15年前に現在の「菜の花ウォッチング」の基礎を築いていただいた経緯がありますが、人材確保や安定した収益確保の点から事業継続することが難しくなり、観光協会が継承した経緯があります。</p>
35	<p>建物を建てるための場所や予算について論議することももちろん大切ですが、完成後の運用について町民が納得できるような、二宮町の未来にとって有意義な官民連携のプランを提示することも、この(仮称)新庁舎・駅周辺公共施設再編計画(案)の信頼を高め、各方面からの協力を得るために、今、行政として取り組むべき課題ではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見として賜りました。駅前複合施設については、まだまだ議論が始まったばかりで、具体的な姿も見えていない状況ですので、検討を進める中で併せて模索していきたいと考えます。</p>

36	<p>1 総括的な意見</p> <p>町民の不安を取り除く財政見通し、町民生活の展望をきちんと説明し、町民が納得できる計画による新庁舎整備推進を期待します。</p> <p>二宮町の過去3年間の決算推移から考えると、現状で今回の計画案は財政的に無理があり、次世代に大きなツケを負わせることになり、改善すべき町民生活の根幹的な問題の存在を忘れていていると思います。</p> <p>(1)現状で財政的に無理</p> <p>二宮町の経常収支比率は94%以上で、臨時財政対策債を除いた経常収支比率は100%前後。経常的な支出で精一杯の状態です。</p> <p>このような状態で、庁舎整備基金は平成30年度に積み立てはじめ、やっと3億2千万円余りとなっています。この基金も最初平成30年度の出納閉鎖期間の翌年度5月までに積み立てし、余裕がなかったのではないのでしょうか。</p> <p>新庁舎建設のために県所有の果樹公園用地も取得し、新庁舎、多目的施設、駅前複合施設の建設、さらには現庁舎、町民センター、武道館の解体など相当高額な出費が必要で、財政的に無理があると思います。</p> <p>(2)次世代に大きなツケを負わせる</p> <p>自主財源の主な財源である町税収入は減り続けています。二宮町の2060年の目標人口は現在より1万人減の17,000人。生産年齢人口が現在の半分と予測され税収は大幅減。特に収入源となる事業もなく、人口減に比して扶助費は減りません。</p> <p>また、コロナは収束せず3年目を迎え、感染症の脅威は今後も私たち町民の暮らしから消滅することは無さそうです。このための経費も必要です。</p> <p>二宮町は、町の保有する財産も少なく、大きな収入源もなく、おまけに一般会計だけでも借金である地方債残高は75億円位で、自主財源の主な財源である町税収入の2倍です。</p> <p>これに、さらに新庁舎建設などの高額な出費は、次世代に大きなツケを負わせることになるのではないのでしょうか。</p> <p>この不安を解消するきちんとした財政的な裏付けの説明がなければ、私たち町民は納得できません。</p> <p>(3)改善すべき町民生活に与える根幹的な問題の存在</p> <p>現在でも道路は歩行者にとっては危険であったり、歩きにくいところが多く、特に高齢者や子育て世代では大きな問題です。</p> <p>そのうえ、ワンストップサービスのために部署を集約すると言うけれど、現状は同じ課であっても担当者がいなければ、わからなかったり、様々な課をまわるようになっていたりしています。</p>	<p>二宮町における地方債(借金)の扱いは原則として、その償還金(返済額)の一部が、後年度に地方交付税に算入されるもの(国から返戻されるもの)に限って、借入を行っています。</p> <p>令和2年度決算の時点における将来の負担額、約77億円のうち、約65億円は、地方交付税に算入されるため、実質の負担額は約12億円と非常に少ない状態です。</p> <p>国の基準による、財政的な指標を見ても、数値が大きいほど返済の資金繰りが厳しいことを表す実質公債費比率は、令和2年度5.3%(全国平均5.7%)、数値が大きいほど、今後の財政を圧迫する可能性が高いことを表す将来負担比率は、21.2%(全国平均24.9%)で、いずれも全国平均を下回っています。</p> <p>地方債については「子どもたちに負担を残すではないか」という考え方もありますが、将来、使っていただく方々に平等に負担をしてもらうという考えです。道路や橋についても同様で、世代間で負担の均衡を図る機能を有しているのが地方債制度であり、現在、住んでいる方やその子どもだけでなく、今後転入してくる人にも公平に負担してもらうというものです。</p> <p>また、道路に関しては、5年に一度を基本とした、定期点検の結果を基に、計画的に修繕を進めています。</p> <p>一方でワンストップサービスについては、現状の窓口対応でも、町民の方に座っていただいたまま、職員が入れ替わりながらの対応や、次の窓口まで付き添う等の対応をしています。今後、より良い町民サービスを提供するために併せて検討していきたいと考えています。</p>
37	<p>2 計画案に沿った意見</p> <p>この計画案は、以下に示した点から、見た目の良い「絵に描いた餅」のようで、精査して検討した結果とは言い難いです。</p>	<p>小中学校の施設統合については、これまで様々な議論が重ねられてきましたが先日、20年以内に一校にしていく考えが、教育委員会により示されたところです。</p>

(1)計画案全般

この計画案は新庁舎整備が紆余曲折で基本計画を白紙後、駅周辺公共施設再編計画と合わせ、検討し直し、再度ワークショップを開催し、まとめたものです。

最終日のワークショップでは、新庁舎の整備は必要と考えるが、財政的裏打ちや町全体の公共施設再配置が不明のまま賛否は表明できないという意見がほとんどでした。

まして、新庁舎建設が果樹公園内ならば、県から土地購入が必要で、「3つの建物建設と土地購入の経費は過大な額になり、私たちの生活に影響が出るのでは」と不安です。確かに今回の計画案は、今まで個別に出てきた意見に対応しながら、検討されていることや町民センターや武道館廃止に伴う対策も講じられているようです。

しかし、公共施設全体の再配置や財政面で将来私たち町民の生活へ悪影響が出るのではないかと不安に感じていません。

私たち町民が心配している学校、地域集会施設、東京大学果樹園跡地などがどうなっていくのかわかりません。学校は5校そのまま存続で施設の長寿命化で20年持たせるということですが、これで本当に良いのでしょうか。

地域集会施設は、円滑に各地区の管理運営に移譲できるのでしょうか。

東京大学果樹園跡地は令和10年度以降の将来計画は未定のままです。

また、ラディアン周辺地区が住民の居場所と記載しているのに、観光交流拠点なのでしょうか？

一貫した考えが通っていません。

第5次二宮町総合計画では文化拠点、都市マスタープランでは生活拠点と位置づけられています。

このようなことで公共の福祉は向上すると言えるのでしょうか。

(2)基本方針に反する

平成25年度に策定された「二宮町公共施設再配置に関する基本方針」の公共施設三原則は次の通りです。

◇新規整備は原則として行わない。

◇施設の更新(建替)は複合施設とする。

◇施設総量(総床面積)を縮減する。

新庁舎、多目的施設、駅前複合施設という3施設の建設は、この三原則に即しているとは言えません。

「整備の過程では、一時的の総量(総床面積)が増える場合がありますが、最終的には総量(総床面積)は縮減します」と即している理由づけをしています。

しかし、新庁舎建設だけではこの原則に明らかに反してしまうので、駅周辺公共施設の再編も含めて縮減とする詭弁のように思います。

(3)駅周辺公共施設再編の計画案は計画と言えない

駅周辺公共施設再編の計画案は賛成が少なかったため、更に検討するとのこと。その程

今後も、施設一体型小中一貫教育校についての研究を進めていきますが、基本的な考え方については、項番3でお示したとおりです。

なお、校舎については令和2年度の学校施設の点検結果により、傷んでいるところがあるものの、平成10年代に他の施設に優先して取り組んだ耐震工事の効果が十分発揮されており、修繕のうえ長寿命化し、使用できることが分かっています。

地域集会施設を各地区管理に移譲する件については、各地区個別の事情に応じて協議するものであり、確定したものではありません。

東大果樹園跡地については令和9年度まで現在のあり方を保つことをお示ししていますので、その後の活用については、今後検討していくことになります。

様々な方の、様々なお考えがあると承知していますが、町は公共の福祉の向上、については町民の皆さま「全体」のためにあらゆる事業に取り組んでいます。

ご意見のとおり、施設の更新のため、一時的に公共施設の床面積の総量が増えることはありますが最終的にはP58のとおり縮減していきます。

なお、「公共施設再配置に関する基本方針」において、新規整備は原則として行わないとありますが、総量規制の範囲内で行うことも併せてお示ししています。

平成29年度「役場整備手法調査報告書」でもお示しているとおり、庁舎の狭あい化は、大きな懸案になっており、感染症の影響もあって更に深刻な状況になっていますので併せて対策を講じたいと考えています。

駅前複合施設については、これまでの回答のとおり、まだまだ議論が必要な段階であり、具体的にお示しできていませんので、町民の皆さまからの意見を伺いながら引き続き検討していきます。

	<p>度で計画案として公表して良いのでしょうか。</p> <p>ホテルの跡地に建設する多目的施設は、建設目的が不明です。それなのに、二宮町社会福祉協議会が入居している施設の賃借期限が迫っているということで、早急に建設してしまうのは問題です。</p> <p>今回商工会館は対象になっていませんが、二宮町社会福祉協議会が将来仮に保健センターに移転した場合は、この多目的施設を移転候補地として検討するとなっているのも問題です</p> <p>現庁舎、町民センター、武道館の跡地は、どうなるかも曖昧なままです。</p> <p>この計画案のまま、北口どおり(二ノスはな通り)の回遊性を高めるとは思えません。</p> <p>現庁舎、町民センター、武道館の跡地に駐車場を整備したら、商店街はさらに停滞するのではと心配です。</p> <p>図書館機能も図書館スペースに保健センターの移転、生涯学習課の再配置で本当に向上するのか不安です。</p> <p>(4)わからない概算事業費</p> <p>新庁舎建設の概算事業費も参考とされる新庁舎事業費の24億 4,200 万円の水準と算定されているだけで用地取得費は参考金額も算出されていません。</p> <p>また、多目的施設、複合施設の事業費については、まったくふれられていません。複合施設にいたっては、現時点では内容、面積等が不確定な点も多いため算出することができませんとしています。</p> <p>これに取り壊し費用も含めるとどれだけ高額になるか、わかりません。</p> <p>(5)ご都合主義の事業スケジュール</p> <p>用地取得の交渉もこんな短期でできるのでしょうか。</p> <p>事業スケジュール全体でもこんな円滑に進むのか不安です。</p>	
38	<p>開成町や寒川町や大井町や大磯町が人口増加しているなか、現庁舎の対応について、町が抱える 3 つの課題(人口減少・税収不足・過剰な公共施設の更新改修費)を常に意識して検討しないといけないと考えます。新庁舎完成が 6 年後の令和 9 年予定ならば、小中学校の統合を待って、空いた二宮小学校校舎を新庁舎とし、現庁舎解体費用を除く約 20 億円をすぐに約 10 年間の子育て等助成金にあて転入者誘致を強化するほうが人口増・税収増・公共施設更新改修費減に貢献すると考えられますが、新庁舎建替え案は、町が抱える 3 つの課題解決にどのような貢献をしているか教えてほしい。</p>	<p>新庁舎の完成は P57 のとおり令和 8 年の予定となっています。小中学校の統廃合については項番3や37の回答のとおり、すぐにとりかかることはできません。</p> <p>また、新庁舎建設と、ご意見の3つの課題を解決することについて直接的なものでは無いと考えています。</p>
39	<p>「多目的で将来転用しやすく弾力的な対応可能な施設」を隣接する新庁舎の増床で対応せず、施設分散化で維持管理等のコスト高や利便性の低下が考えられるのに、また、身の丈以上の施設整備優先の反省をふまえずに、わざわざ旧ホテル跡地に分散して建設する理由を教えてください。</p>	<p>社会福祉協議会については、現施設所有者から速やかな移転を求められていることから、新庁舎の完成を待つことができない状況です。また、施設の構造から、開催に大変不自由しているという、元町老人憩の家における「通いの場」の代替開催の場所として活用していただくことが可</p>

		<p>能であると考えています。</p> <p>この活用については、恒久的なものではなく、将来的には老朽化した町民センターの閉館も視野に入れて多目的に活用できるよう設計していきます。</p>
40	<p>吾妻山公園は「菜花桜と富士山と海」で春は好評なので、「菜花桜」の部分を夏は「向日葵」秋は「秋桜」とし、夏秋も観光客が増える施策をとれないか検討してほしい。</p>	<p>担当課に伝えます。</p>
41	<p>「はな通り」は、店舗が最も集積している商店街というより、二宮町で最も危険な町道である。朝の通勤通学時間帯だけは一方通行規制されバスの一方通行化はされているが、特に通学自転車は非常に危険な状態であり、日中も荷下ろしや買い物客の駐停車車両がバス運行の妨げとなり、歩行者の危険な状態が放置されている。町の顔であり町民の安心と安全をアピールすべき「はな通り」が「大型車(路線バスを含む)の乗り入れ禁止・終日駅方向への一方通行・路側帯ではない歩道の設置等」の歩行者に対するより強い安全対策が今まで実施されなかった理由を教えてください。</p>	<p>項番7の回答のとおりです。</p>
42	<p>「学校施設は安全安心の場ではならないので多様な方が様々な目的で訪れる役場機能と混在させない」という町の考えと、相反する今回の「多様な方が様々な目的で訪れる観光協会及び一部行政サービス、町民センターを設置する」提案をする理由を教えてください。</p>	<p>説明が不足しており、申し訳ありませんでした。秦野市立西公民館の事例を参考に、通常は、町民センター機能の1階と二宮小体育館の2階を連絡する扉を施錠しておき、災害時等には、開錠して相互に行き来できる運用を考えています。</p>
43	<p>町民センターの各会議室が60%から96%の空室率であれば、新庁舎及びラディアンの会議室と共用し集約すべきで、駅前複合施設に分散すると維持管理等のコスト高や利便性の低下が考えられるのに使用率が30%の会議室をあえて設置する理由を教えてください。</p>	<p>町民センターの会議室の使用率が低い原因の一つとして、坂の上の立地やエレベーターが館内に設置されていないことがあると考えています。過去に建っていた駅前町民会館の和室の稼働率は約60%でした。また、防災的な観点でも、ある程度部屋数が必要と考えて今回の(案)としました。引き続き、皆さまからのご意見を伺いながら検討していきます。</p>
44	<p>2階は体育館(柔道場、剣道場)、1階は温水プールと更衣室と出入口とし健康増進スポーツ専用施設の総2階とし、1階と2階を結ぶスロープを設置し、出入口だけを校舎側には生徒専用を、駅側には町民専用を設置することで動線を分け、原則として平日正午迄を生徒専用で、それ以外は町民専用とする(生徒のクラブ活動は一般と同様で行う)かたちで、入退出はマイナンバーカードで管理するかたちで実現してほしい。同時に集約された町民体育館と武道館とプール(温水と山西と袖ヶ浦)はすぐ解体のうえ売却し建設費用に充当してほしい。</p>	<p>温水プールは、項番10での回答のとおりコストが掛かることが課題になっているため、新たに設置する考えはありません。動線についてはご意見のとおりですが項番42で回答したとおりです。町立体育館は「公共施設再配置計画」にお示ししているとおり、稼働率も高いため長寿命化して引き続き維持していく考えです。町内の3つのプールに関しては、統廃合を含め、今後のあり方について、来年度改定</p>

		する「公共施設再配置計画」と併せて検討していきます。
45	小学校体育館と多目的体育施設に分けずに一つの大きな体育館とすると、同時に多種多様の運動ができ、また広いコートを一括使用することで正式な大会を誘致でき稼働率が上がるのに、あえて使用目的が限定される武道場を設け、体育館を小さくしないといけない理由を教えてください。	学校の体育館は現状と同等面積を確保することとし、建築条件を踏まえながら、現在でも十分とは言えない二宮小学校の校庭ができるだけ減らない様に大きさを検討し、配置しました。体育館としては町立体育館の方が大きく一般向けなので、競技大会等はそちらの利用をお願いしたいと考えます。
46	菜花桜期間は、吾妻山公園に東大果樹園跡地で使用中のトレーラーハウスを移設し、観光協会の前線基地とし、通常は新庁舎内にラディアンの対応として設置すべきで、菜花桜期間しかない客の為に観光協会を駅前一等地にあえて年間設置する理由を教えてください。	駅前に観光協会があった方が良いという声を、町民の方々や議会からもいただいていますので、町の玄関口、案内所としての配置を考えた(案)としました。 なお、トレーラーハウスについては、東大果樹園跡地で活用することを前提に設置したものですので、移設等の考えはありません。
47	新庁舎の建設場所は現ラディアン敷地が 10,000 m <sup>2</sup> あることからラディアン大改修に合わせてラディアン前後の駐車場に平屋 4,000 m <sup>2</sup> を増築し一体化し利便性と使用効率を上げる(敷地は町道 99 号線を法務局までにしてラディアンと第一駐車場と果樹公園を一体とする)。駐車場は第一駐車場と果樹公園西側通路沿いを一体化し一か所で集中管理する。会議室は一か所(現ラディアン駐車場及びラディアン内)に集約のうえ、部屋の大小に柔軟に対応出来る様に全て可動式壁を採用する(入退室管理はマイナンバーカードを利用する)。執務室と窓口も一か所(県道側)に集約する。分散すると維持管理等のコスト高や利便性の低下が考えられるのにラディアンと離れて新庁舎を建設する理由を教えてください。平屋建てのスペースがあり耐震力アップや昇降装置等の余分な建設費用が発生するのに 3 階建て(イメージ図)にする理由を教えてください。分散すると維持管理等のコスト高や利便性の低下と利用者が空を確認する為の余分な移動等での混雑と交通量の増加が考えられるのに別々に離れて 4 か所も駐車場を設置する理由を教えてください。	ラディアンの駐車場に庁舎を建設する案等も当初の内部検討の段階でありましたが、神奈川県内の浸水想定区域の見直しと、それに伴う議会からの意見も受けて検討した結果、周辺より標高の高い果樹公園を建設用地とする今回の(案)としました。しかし、P51のとおり新庁舎の面積をできるだけ減らせるよう、ラディアンの活用について十分検討したいと考えています。 なお、イメージ図はご意見のとおり3階建てになっていますが、今回の計画では特に限定するものではなく、2階建ての可能性もあります。(一般的には、ある程度複層化の方が建築コストが安くなるため、3階建てのイメージとしました。) なお、駐車場については、P53にお示ししているとおり、公共交通や歩行者に優しい動線を最優先するため、駐車場を分けて設置することとしました。
48	ラディアンも含みスケルトン・インフィル構造としてほしい。	ラディアンは設計段階でホールや図書館として、特定の目的を持って設計されており、「スケルトン・インフィル構造」になっていないことから、建物を大きく改造する必要があります。費用対効果の面から、難しいと考えています。

49	災害対策本部は現在の図書館 2 階学習コーナーに災害時設置してほしい。	P43 のとおり災害時の迅速な対応と連携のために、災害対策本部は新庁舎内に設置を考えています。
50	水害対策として止水板・水中ポンプ・逆流防止弁・圧力開放蓋・囲い堀等の設置の記入がない理由を教えてください。	果樹公園は周囲より、約 2m 高くなっているため、庁舎建設後においても、浸水対策の必要性は少ないと考えますが、想定されるあらゆるリスクを改めて分析し、基本設計で考えていきます。なお、P57 のとおり、ラディアンにも浸水対策を考えています。
51	コンビニエンスストア設置について黒字経営する日商 50 万(@700 円×約 715 名)以上を想定している理由を教えてください。	コンビニエンスストアの設置は考えておらず、今回の計画(案)にもありません。
52	ラディアンと庁舎の可動式壁会議室の入退出はマイナンバーカードを使用して一括管理し、町職員と町民の区別なく常時事前予約で使用できると稼働率を高めることができるのに、庁舎会議室を閉庁時にしか開放しない理由を教えてください。	開庁時は突発対応等も想定した上で、役場業務を優先的に使用するため、一般開放は閉庁時を考えています。
53	町民と同様にホールまたは可動式壁会議室を事前予約して使用すれば、町議会の会場が確保できるのに、特別仕様で議場を別に設ける理由を教えてください。	議会は、議決機関として町政における重要な役割を果たすため、議場を設置する考えです。一方で、P47 のとおり、近年、議会が開催されていない時の議場の汎用性も求められていることから、一般利用等も検討していきます。
54	デジタル化に伴い書類が激減し、特別職の応接機能は町民共用の可動式壁会議室を使用し、資料保管等は図書館を利用すれば、全職員の執務面積は同じにできると思うが、役職の執務面積が班員の 1.8 倍から 12 倍でなければならない職務上の理由を教えてください。	国の基準に則り必要面積を算出した例ですので、基本設計にてレイアウトをしながら詳細を検討していきます。なお、図書館の書庫は現状でも最大まで収容されているため、新たに庁舎分を保管するのは難しい状況です。
55	災害時に備えて 1 階から 2 階までのスロープを設けてほしい。	スロープになるかは未定ですが、災害時における避難経路等は障がい者や高齢者のことも踏まえて複数設けられるよう考えます。
56	駐車場は、第一駐車場と果樹公園西側通路沿いを一体化し集中管理すれば、イベント開催時の需要対応は不要で誘導等の余分な費用も発生しないのに、駐車場を分散設置する理由を教えてください。	歩行者優先の安全性の高い交通形態を考えているため、自動車とできるだけ交錯しないよう P53 のとおり、動線を通り抜けとせずにロータリーを設ける様にしています。
57	二宮駅北口交差点に渋滞緩和の為にラディアン付近から右折専用レーンを設けてほしい。	ご意見の通り、P55 の様に交差点改良ができ、車線が

		確保できた際には、右折レーンの設置を検討したいと思います。
58	新庁舎への交通手段が一日たった 8 便の「にの♡バス」だけではとても不便なのに、元町停留所を旧ホテル跡地に移設し既存路線バスを活用しない理由を教えてください。	今後、計画の進捗状況にもよりますがご意見を踏まえ、神奈川中央交通株式会社とも将来の路線形態について協議していきたいと思います。
59	多目的施設を建設する工期に、ラディアン大改修を行い、保健センター機能をラディアンに先に移設すれば、社会福祉協議会事務所は多目的施設に移転後に保健センターに再移転せずに、移転時期を変更せずに直接保健センターに移転できるのに、ラディアン改修と新庁舎建設の開始時期をわざわざ合わせ、さらに新たに施設を建設する理由を教えてください。	当初の計画どおり(令和5年度の新庁舎竣工)進んでいけば、社会福祉協議会は直接、保健センターに移転することが可能でした。 今回は、項番 39 の回答のとおり、時間的猶予や他に受け入れられる施設が無いため計画しています。
60	ラディアン閉鎖周知期間に 2 年も必要な理由を教えてください。	ホールの予約が 12 か月前から可能なため、興行やイベントの計画を考えると、更にその 1 年前から周知する必要があると考えています。
61	早急に小学生の危険を回避するのに、駅前複合施設の建設を早めるためには、駅前駐車場貸付期間の短縮を申し入れると必ず補償金等が発生するのか、発生するなら補償額を教えてください。	二宮小学校の現体育館に危険はありません。耐震改修が済んでおり、令和 2 年度における施設点検により指摘された課題も速やかに修繕しました。なお、駅前駐車場貸付期間を短縮した場合における営業補償については、別途協議する事項となっています。
62	駅前複合施設は二宮小体育館の場所につくるのに駅前複合施設建設後に二宮小体育館を解体するスケジュールになっている理由を教えてください。	ご意見の通り P58の二宮小体育館の解体工事は、建設前である必要がありますので、令和8年度に修正します。
63	新規建物に集約後、集約前の建物をすぐに解体売却し新規建物建設費用に充填し、維持管理費を削減させることは当然なのに、新庁舎完成後すぐに現庁舎及び産業振興課施設を解体しない理由を教えてください。同様にラディアン改修後すぐに保健センターを解体しない理由を教えてください。	他市町の庁舎移転の事例から、段階的な移転を考えています。計画(案)では表現上、一年間のスケジュールとなっていますが、実際には3か月～6か月程度の想定で、移転後は速やかに解体したいと考えています。 保健センターについては、立地や大きさ、駐車場不足等から具体的な跡地利用が想定できていませんが、多目的施設のあり方によっては、社会福祉協議会が活用する可能性を考えています。
64	地域施設を集約しているなか、隣接する元町老人憩いの家を新庁舎会議室使用のかたち等	地域集会所は、地域の方々の活動に使用する施設です

	で集約しない理由を教えてください。	ので、町が常時使用する会議室としては考えていません。
65	50ページの新庁舎の対象人数について、将来人口が低減していくにしても、必要な職員数は維持しなければ行政サービスは立ち行かなくなると思われるため、安易に削減すべきではないと思います。	現時点で職員数を削減する計画はありませんが、職員が減少した際にも、施設を有効活用出来る様な設計にしたいと考えています。項番48での回答のとおり、予め「スケルトン・インフィル構造」でないと後から変更することが難しいため、予め考慮しています。
66	これから死に行くだけの老人の意見に耳を傾けることなく、若い世代の意見をよく反映してほしい。職員的大幅削減や、1000年に1度の浸水(しかも1Fが水に浸かる程度)程度で立地が妥当でない、などの意見も聞くが、極論であり全く妥当ではない意見だと思われる。データに基づく冷静な議論ができない人間は議論に参加すべきではないし、意見を聞くべきでもない。	ご意見のとおりデータに基づく検討が基本だと考えています。新庁舎事業について様々なご意見を頂いていますが、一つひとつを受け止め、総合的に勘案し、より良い庁舎となるよう引き続き検討していきます。
67	学校の統廃合と連携せず公共施設再編計画を進めることについて反対。	平成28年度より、小中学校と庁舎の問題は、他の公共施設と同列に考えることは難しく、切り離して、考えていくこととしています。 令和4年度には、これまでの様々な検討を踏まえ「公共施設再配置計画」を見直していきます。
68	先般の旧ホテル跡地の取得については明確な使用目的がなかった。このタイミングで再編計画に盛り込むのであれば、取得費用は再編計画経費としてみるのが自然。再編計画のコスト計算において旧ホテル跡地の取得費1億150万円を計上すべき。	これまで、再編計画経費という示し方はしていません。旧ホテル跡地の取得目的は、議会等でご説明したとおり、近隣や通学路への影響を踏まえ、ホテル営業を再開させないことが第一です。
69	P7について、旧ホテル跡地への多目的施設建設に反対。一時的な移転は既存建物の借用を検討すべき。最終的な使用目的に具体性がなく、町民センター機能の整理とも相反している。	項番39や59の回答の通り、社会福祉協議会の移転が喫緊に求められているためです。
70	P10について、保健センターの図書館への移転は望ましい面もあるが、図書館の書架面積や、蔵書数の減少に懸念。保健センター機能の追加により図書館の規模が減少しないよう、床面積を手当してほしい。	近年、インターネットの普及やデジタルコンテンツの充実に伴い、図書館のあり方が、議論されており、公立図書館でも、電子図書館事業が始まっている事例もあります。 地域資料の収集や、誰もが本に親しめる場を提供するとともに、時代の変化を受け止め、限られた床面積をより有効的に活用していくため、他の機能を検討し、ラディアンの魅力をより高めていきたいと考えています。
71	P35について、駅前複合施設の敷地については、小学校の敷地設定から切り離して単独で	二宮町は「特定行政庁」ではありませんので、建築確認申

	日影規制の対象として計画するとあるが、法的な裏付けは確実か。建築確認申請の担当課は二宮町役場にあり、役場の計画を役場が承認する形になるが、計画途中で外部から違法性を指摘される恐れはないか。	請等の相談窓口は、平塚土木事務所(神奈川県)が担っています。建物のレイアウトが確定していない現状ですが、居室の天井高や床面積等を現実的に想定したレベルでの事前相談の結果により今回の計画を策定しています。
72	P37 について、二宮小学校の今後の運営が未確定でありながら、二宮小学校体育館の機能が盛り込まれている。小学校体育館としては、数年で使われなくなる可能性もあるため、その場合の通常時における利用方針等を示すべき。	項番37の回答のとおり、各小中学校については、修繕しながら統合を進めていくこととなりました。また、P14にお示したとおり、将来的に小中学校の統廃合が生じたとしても、避難所機能は必要と考えていますが、平常時には多目的ホールとしての活用が考えられます。
73	P41 について、土砂災害警戒区域図、洪水浸水想定区域図のどちらにもかからない箇所が果樹園南部にある。計画では駐車場予定地となっているが、庁舎予定地と配置換えを行い、災害を受けにくく建築費を抑えられる場所を検討すべきではないか。	ホームページ上の「第1回ワークショップ資料(補足)」でもご説明していますが、土砂災害警戒区域内(通称「イエローゾーン」)は擁壁や土留めなどの対策や、盛土・切土などの状態を考慮せず地形のみで判断したものです。果樹公園内は、管理棟整備時に水路や土留めなど一定程度の対策がなされていますので、その状況と安全対策の必要性、ラディアンとの連携性(距離や動線)、建築コスト等も加味して、基本設計の中で敷地内の細かい配置を検討していきます。
74	P43 について、1階部分を RC 工にすることで、土砂災害に対応できる科学的根拠はあるのか。土砂災害の防止はアンカー工、法枠工等によるべきではないか。	土砂災害特別警戒区域内(通称「レッドゾーン」)における、建築物の構造による対策として、外壁等を鉄筋コンクリート造(RC 造)にすることは、一般的なものです。他にも、地形の造成や土留め擁壁を作る等の手法も考えられます。なお、アンカー工や吹付法枠工等は、山側を対策する手法として考えられるものです。 果樹公園内で想定している新庁舎の敷地は、項番73の回答のとおりイエローゾーンであり、かつ一部、対策が施されていますので、必要性について基本設計の中で、十分検討したいと思います。
75	P46 について、庁舎への太陽光パネル設置については、火災消火時の漏電対策をお願いしたい。	新たな視点として賜りました。施設の電気設備については、火災消火時の漏電対策等についても検討していきます。
76	P48 について、H29年報告書においては同種同規模事例平均値から新庁舎の規模の算定	近年建設された庁舎では、コスト面から床面積を削りす

	<p>しており、また P51 では総務省基準を引き合いに 4,400 m<sup>2</sup>を目標としている。ワークショップでは庁舎の規模は最低限にしてほしいという意見が多数あった。「平均値」や「国の基準」ではなく「最低限」から床面積を算定すべきではないか。</p>	<p>ぎてしまい、逆に使いにくくなってしまったとの事例も散見されています。現時点では、国の基準からの算定値をベースとした上で、基本設計の中で、適切にレイアウトしていきます。</p>
77	<p>ラディアン近くの新庁舎は集めるべき部署を十分検討し、それが入る必要最小限の大きさにします。今ある公民館などを生かし、そこを町の出先機関として役場の方に常駐していただきます。近所にある、町の出先機関で、ワンストップで済むならば、ラディアンでワンストップになるよりもっと便利です。デジタル化が進むならば、ネットを利用して、それも可能ではありませんか？小さな出張所でもネットでつなぐことで、必要な証明書や書類を取ることが出来れば何よりです。役場で働く方も自宅近くの職場で働くことで、みんながより町を身近に感じる可能性もあります。</p>	<p>今後、役場における諸証明等を発行する機能はICT化が進んでいくため、住民の方々が窓口に来られる機会は減少していくと考えています。昨年10月から、コンビニエンスストアでマイナンバーカードを使用しての住民票の写しや印鑑登録証明書の発行も始まったところです。</p> <p>一方で、これからの自治体窓口には「老々介護」や「親と子どものWケア」、「大人の引きこもり」など、様々な要因が絡み合う相談に対応するための専門的な機能の強化が求められています。</p> <p>詳細は、項番3の回答のとおりですが、町民の方々の利便性向上のため、プライバシーに十分配慮をしながら、様々なご相談を一か所で対応することができるサービスを実現したいと考えています。</p>
78	<p>二宮の良いところ、多くの方が自然が豊かであることだとおっしゃっていました。新庁舎のあるラディアン周辺は二宮の顔になります。ラディアン周辺に今残っている自然をなるべくそのまま残してほしいと思います。</p> <p>そういう意味でも建物をなるべく小さくし、せっかくの自然をなるべく残して欲しいです。</p>	<p>できるだけ、景観に配慮し、周囲の環境に調和した庁舎を考えていきたいと思えます。</p>
79	<p>SDGsの観点、また高齢者が安心して免許を返納できる等の理由から、駐車場を広く取るのではなく、コミュニティバスなどでのアクセスを便利にして欲しいです。果樹園跡地を駐車場にするのはなんだかもったいない気がします。</p>	<p>項番56の回答のとおり、コミュニティバスを始めとした、公共交通優先の動線を考えていきます。駐車台数については、改めて台数設定や構造、景観等のバランスも加味して検討していきます。</p>
80	<p>感染症の現状を考えると、できるだけ分散して用事が済む方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>感染症対策だけのことを考えれば、分散する、あるいは全てをリモートにする事も考えられるかもしれませんが。</p> <p>一方で、町の業務としては、税務、総務、福祉、防災、道路、環境、農業、商業…等々、非常に多岐に渡ることや、個人情報が絡むデリケートな相談、文書だけのやりとりだけでは説明が難しい案件など数多くあります。項番3の回答でも述べましたが、デジタルだけ、対面だけという極端な</p>

		議論では無く、社会の過渡期であることも踏まえ、総合的に勘案して検討していきます。
81	予算についての心配もあります。大きな建物を今急いで沢山建築してしまうことで未来の人たちに負担をかけないでしょうか？	項番36の回答のとおり、将来に負担をかけるというより、公平に負担してもらおうという考え方です。大きな建物をいくつも作るというより、P58のとおり、全体として縮減していく考えです。庁舎を始め必要な施設について、耐震性や老朽化の点から、複合化により規模を抑えて更新したいと考えています。